まちニュース

市がお店を応援！ 最大3割バックも
31日までキャンペーン

市は、三月一日から三十一日まで、「いわき市のお店を応援！キャッシュレスで最大30％戻ってくるキャンペーン！」＝チラシ下＝を実施中。

同キャンペーンは、市内の消費喚起、市内店舗への経営支援、キャッシュレス決済の導入促進を図ることを目的に行われ、高齢者などキャッシュレス決済を使い慣れていない市民に対しては、説明会を開催予定。

ポイント還元対象は、市とキャッシュレス決済会社が指定した市内の中小企業、店舗など。昨年実施のPayPayのほか、d払い、auPAY、計三つの決済方式に対応する。

決済方式ごとのポイント上限は、一回あたり三千円（支払い額一万円）。期間中の上限も、同じく三千円で、三方式全てを利用した場合、合計九千円分が還元される。

問い合わせは、市コールセンター（フリーダイヤル〇一二〇―三〇五―九〇三）まで。

東日大で修了授与式
〝親善大使として頑張ってほしい〟

平鎌田、学校法人昌平黌（緑川浩司理事長）は先ごろ、東日本国際大学で「令和四年度春期留学生別科修了証書授与式」を行った。

授与式では、中山哲司学長が、二年の別科課程を修了したラマ・アティトさん（ネパール）と、県費留学生で一年課程を修業したスズキ・ルシアーナ・チエさん（ブラジル）、アジト・アラケ・ホセ・アウグストさん（ペルー）の三人にそれぞれ証書を授与した。

二年前、コロナ禍中の短期間、渡航可能な時期に来日したラマさんに緑川理事長は、「大変な時期に一人来日して、学習は大変だったと思う。本学が大切にしている思いやりの心を持って、民間の親善大使のつもりで頑張ってほしい」と、激励した。

証書を受け取る留学生

同校は二月八日、令和四年度第七回「英語講座（英国）」の結団式を開いた。

英国カンタベリー・クライスト・チャーチ大学（CCCU）に留学、英語だけでなく、同国の歴史や文化などを学ぶ。

六人の参加学生と二人の指導・引率教員は二月十六日から、三月十七日まで、現地でさまざまな学習、学生間交流などを行う。

いわきコンカレで44人が卒研発表

泉町、いわきコンピュータ・カレッジ（田口周二校長）は二月三日、同校で「令和四年度卒業研究発表会」を開き、三月末に卒業見込みの四十四人の学生が九チームに分かれ、研究成果を発表した。

研究は、いわきマリンタワーなど、特定のスポットで、スマートフォンのカメラをかざすと表示されるAR（拡張現実）技術を活用した独自の写真撮影、位置情報を利用したスタンプラリー参加、観光情報案内など総合的なHP（ホームページ）作成。

また、タッチパネルを使用し、AI（人工知能）と対戦するゲーム制作ほか、幅広い内容で実施。

昨年に引き続き、ウイルス感染症対策として、オンライン中継を実施し、同校関係者のほか、開発を依頼した小名浜まちづくり市民会議メンバー、提携する会津大学職員らがインターネット経由で発表会を視聴、質疑応答に参加した。

外部からの依頼でHP制作を行ったチームの発表

田口校長は、「素晴らしい研究成果を、卒研だけで終わらせることなく、今後も生かしてほしい」と、総評を述べ、参加者を励ました。

発表会は動画として保存され、関係者を含め近隣自治体の市町村長、職員などが視聴できるよう環境を整え、学生募集のためのPRにつなげて行くという。

勿来でなっくる市
3月5日、出品、販売

手作り雑貨や焼き菓子などを出品、販売する「なっくる市」は三月五日、勿来町関田関山地内の交流スペース勿来を会場に開かれる。

市は例年開かれていたが、コロナ禍のため、しばらく休止していた。

今回も手作り雑貨類をはじめ、日用品、衣類、ハンドメードなど各種の商品が並ぶ予定。開催時間は午前十時から午後二時まで。出店希望者は一区画五百円で、テーブル、イス二脚付き。

申し込みなど詳しくは、電話八八―六五四一まで。